

令和5年度 生涯学習部研修会(岐阜地域) 報告書

日 時：令和6年2月4日(日) 時 間：9時～12時

形 式：WEB研修会(ZOOM使用)

メインテーマ：「がん治療について」

講師1：佐藤 悠太先生 岐阜大学医学部附属病院 消化器外科 助教(医師)

講師2：鈴木 克喜先生 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション室
(修士(保健医療学)、日本がん・リンパ浮腫理学療法学会 評議員)

講師3：池田 朋大先生 岡山大学病院 総合リハビリテーション部
(修士(保健学)、日本がん・リンパ浮腫理学療法学会 評議員)

参加人数：受講者41名(スタッフ含む)

今回の研修会では、「がん治療」に焦点を当て、講師には、食道がん手術に対して最前線でご活躍されてみえる岐阜大学医学部附属病院 消化器外科の佐藤悠太先生にご講義いただきました。また、がんのリハビリテーションの経験や知識が豊富な静岡がんセンターの鈴木克喜先生、岡山大学病院の池田朋大先生の2名も講義いただきました。

佐藤先生の講義は、基本的な食道の解剖から始まり現在実際に行われている最新の手術を動画で解説していただきました。術後の合併症予防や早期離床を安全に行うためのチームアプローチの実際を講義いただきました。医師として理学療法士に求める事や、医師として患者にいつも伝えている事など、普段なかなか聞けない話を聞くことができました。とても勉強になったと同時に、今後臨床を行っていく上で非常に意識が高まるような講義でした。

鈴木先生の講義では、実際に鈴木先生の病院での周術期がん患者の対応や文献を踏まえたデータを紹介していただきました。術前からの理学療法の介入の重要性が分かり、術後早期の介入の実際など、とても刺激的な講義でありとても勉強になりました。

最後の池田先生の講義では、化学療法・放射線治療の臨床課題やリスク管理上の注意点、感染対策や有効な理学療法を聞くことができました。臨床で我々も感じている全身状態の悪い患者や予後の悪い患者、緩和ケアになった患者に対するの対応などアドバイスをいただけ、更にディスカッションをすることができ、これから臨床を行っていくに当たりとても為になる話を聞くことができました。

すべてのテーマで参加者から質問や悩み相談があり、とても活発な研修会となりました。来年度の研修会から対面となりますが今後とも臨床に活かすことができ、ハイレベルは研修会を続けていけるようしっかりと企画していきたいと思っております。

生涯学習部 渡邊 翼